

PRESS RELEASE (2024/03/15)

九州大学大学院芸術工学研究院等と那珂川市が連携協力協定を締結
～豊かな地域資源を活かし、持続的でレジリエントなまちづくりの構想を目指す～

九州大学大学院芸術工学研究院、大学院芸術工学府及び芸術工学部と那珂川市は、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、環境に基軸をおいたまちづくりや人づくり、都市環境デザインの分野で相互に協力することを目的に連携協力協定を締結します。

令和4年2月に「ゼロカーボンシティ那珂川」を宣言された那珂川市と、環境デザインおよび脱炭素に関する研究教育機関である大学院芸術工学研究院が連携協力することで、那珂川市の有する自然・歴史・文化・産業など豊かな地域資源を活かしつつ、脱炭素の実現に向け、さらなる持続的でレジリエントなまちづくりの構想が可能となることが想定されます。なお、本連携協力協定は、九州大学バイオ・サーキュラーデザイン・ユニットの研究プロジェクトの一環としても実施予定です。



芸術工学研究院等がある九州大学大橋キャンパス

つきましては、下記のとおり連携協力協定の締結式を開催します。

【連携協力協定締結式 概要】

○日時：令和6年4月2日（火） 14時～

○場所：那珂川市役所本庁舎2階 第1・2会議室
(福岡県那珂川市西隈1丁目1番1号)

○出席者：那珂川市長 武末 茂喜 氏
大学院芸術工学研究院長 尾本 章 ほか

○その他：締結式の取材は、開始10分までに直接会場にお越しください。

【大学院芸術工学研究院と那珂川市との関係】

これまで、九州大学大学院芸術工学研究院の教員が那珂川市の委員会委員へ参画しているほか、那珂川市をフィールドとした研究を行うなど協力や交流を行って参りましたが、双方の人的・知的・情報資源を活用し連携を強化することで一層の社会貢献と教育・研究の向上を目指して参ります。